

僕が学志舎に入塾したのは小6の時でした。一番の理由は塾長と事務長の全てをプラスにする考え方に心を打たれたからです。

入塾当時は国語力が大きくかけていました。その力を養うために塾では作文を沢山書き、添削してもらいました。その中で、文の流れや、どう書けば相手に伝わるのか、理解を深められました。

小6の頃に国語力を鍛えたことが、その後の他の教科に大きく影響したことを感じています。

中3の中体連が終わり、夏休みから本格的に受験勉強を始めました。そして8月の終わりに第一回の岐阜新聞テスト。その結果は決して満足のものではありませんでした。2回目も同様でした。頑張り始めて結果が出るのは普通で半年、早くて3ヶ月と聞いていたものの、不安になりました。この状況から脱出する為に、もう一度各教科の基礎を見直すことにしました。9月から始まった「合格サクセス講座」がちょうどその内容で、基礎固めに専念できました。

そのおかげでその後難しい問題も解けるようになり、実テや岐阜新聞テストの点数も右肩上がりになりました。僕がスランプだった時、塾長と事務長はこの塾の教育理念である自律を重んじ、勉強に対する考え方を教えて下さいました。そして、僕の自主性を大切に、

ずっと見守っていてくれました。本当にありがたかったです。結果的に志望校をワンランク上げ、北高に合格できました。学志舎に通ったことで、勉強が楽しくなったことが今後の大学受験を考えると大きな収穫だと思います。

受験生の皆さんへ

僕は中3の夏まで本当は勉強が嫌いでした。しかし受験という枠組みの中で本気で勉強に取り組んだことで勉強が好きになりました。

受験のためのアドバイスは2つあります。

一つ目は、長時間勉強になれることです。受験勉強は量と質が求められます。だからまずは長時間勉強することに慣れて、そこから質を上げればよいと思います。夏休みは夏期講習と家庭学習で340時間くらい勉強しました。はじめは辛かったけど、だんだんと慣れてきます。頑張ってください。

二つ目は確実に基礎を固める事です。ゆるぎない基礎があつてこそ、どんな問題にでも対応できるようになります。難しい問題を解く前にしっかりと基礎を固めましょう。高得点を取れる人は、基礎がしっかりしているからだと言え、受験勉強を通して確信しました。

受験勉強、本気で3月まで駆け抜けて下さい！